



筑波大学 ×



神田外語大学

国際スポーツ ボランティア 人財育成プログラム

▶開催日程

6月10日(日)・17日(日) 2日間

▶開催目的

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を控える中、
国際スポーツ大会の運営・通訳ボランティアとして参加するために
必要な教養知識や技能を学ぶ

▶開催場所

筑波大学※東京キャンパス 120教室・神田外語学院※東京キャンパス 本館7階大講堂

▶対象

大学生(定員90名)

▶受講料

5,000円(税込)

▶修了証

全日程出席者に修了証を発行

※筑波大学 学長、神田外語大学 学長の直筆サイン入り修了証になります。
※国際スポーツ大会のボランティア申込の際、研修履歴に活用できます。



メッセージと主な取り組み



筑波大学
体育系/教授
東京2020オリンピック・
パラリンピック組織委員会
参与

真田 久

2020年までいよいよ2年になりました。
2020年に多くのアスリートとそのスタッフ、メディアそ
して観光客などが訪れます。
それらを通して日本の社会はどのように変わるので
しょうか？
この歴史的なイベントにどのようにすれば関わること
ができるでしょう。
その一つがボランティアとして具体的に関わること
です。
このほど、オリンピック・パラリンピック教育で伝統
のある筑波大学と語学教育、スポーツボランティア育
成に強みのある神田外国大学が共催し、ボラン
ティア講座を開催することとなりました。この講座を
学習して意義ある2020年に活躍されますことを
期待します。
先日、ローザンヌでT.バツハIOC会長を表敬訪問
した際、ボランティア育成はオリンピックのレガシーと
して重要であるとお話をいただきました。
ボランティアとして、かけがえのない経験を、
2020年の歴史の証人になりましょう！



神田外語大学
スポーツ通訳ボランティア推進室長
体育・スポーツセンター/
ボランティアセンター専任講師

朴 ジョンヨン

オリンピック・パラリンピックやワールドカップで代表
されるように、スポーツの国際化・グローバル化は急
速に進行しています。スポーツは国籍を問わず、言
語・人種・宗教を乗り越え、世界の人々に喜びと
感動、そして勇気を与える力を持っています。その
意味ではスポーツは世界をつなぐ平和の共通語で
あり、優れたコミュニケーションツールでもあります。
人間は、誰もが運動能力と同様に、言語能力を
持って生まれますが、どのような方法でその能力を
引き出し、発揮・向上させるかは大きな課題であ
ります。
神田外語大学からは毎年、国内外で開催され
る国際スポーツ大会・イベントに多くの学生を通訳
ボランティアとして送り出しています。参加した学生
からは「学んでいる言語以外に、ほかの言語を学
びたいという意欲がわいた」、「外国人選手と接し、
異文化理解力が深められた」など活動の充実さが
窺えます。この経験を通じ、客観的な自己の言語
能力に気づき、外国語学習へのモチベーションア
ップに繋ぎ、グローバル社会で活躍することを願っ
てやみません。



**グローバルマナー
スプリングス**
代表
筑波大学客員教授

江上 いずみ

2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京大
会、2021年関西ワールドマスターズゲームと大き
なスポーツイベントが3年続けて日本で開催されま
す。そのような大きな国際スポーツ大会において、
ホスト国日本の国民としてどうあるべきかを学ぶ「お
もてなし学」の授業を筑波大学ですすめています。
今回の育成セミナーでは、ボランティアとして活躍
する皆様に「おもてなしの心」の極意とグローバル
マナーをお伝えしたいという願いを込めて、カリキュ
ラムを熟考しました。
言語・宗教・習慣・食文化・国民性の違いのみ
ならず、年齢・職業や障がいの有無などを含めた
多様性に応じて、自己を確立しつつ、他者を需要
して、臆せずに積極的に外国の方々をお迎えする
方法を実践しながら学びたいと思います。
思いやりの気持ち、助け合い、譲り合い、心づか
いの素晴らしさを評価されるマナー大国「日本」で
すが、さらに2020年以降の国際社会を見据えた
「おもてなしの心」と「心づかい」を皆さんで学んで
いきましょう。

筑波大学の取り組み



オリンピック教育プラットフォーム
Centre for Olympic Research and Education

筑波大学は日本人初のIOC委員嘉納治五郎（東
京高等師範学校校長）の生誕150周年を記念して
オリンピック教育プラットフォーム（CORE）を設置し、
オリンピック・パラリンピック教育の研究と展開を附属学
校11校（うち5校は特別支援学校）と始めました。
COREはIOC公認のオリンピック研究センターに認めら
れています。これを起点に全国にオリンピック・パラ
リンピック教育の普及と展開に努めています。



神田外語大学の取り組み

2017冬季アジア札幌大会 NOCアシスタント(選手団サポート)

- 【日程】2017年2月12日（日）～27日（月）
【参加人数】全国外大連合の学生84名(本学41名)
【対応言語】英語32名/韓国語4名/中国語5名
【主な活動内容】
- ・各国のチーム付通訳
 - ・大会役員付通訳
 - ・運営局のサポート
 - ・練習・試合後の選手ケア
 - ・日常生活でのサポート等



2018平昌冬季オリンピック 通訳・運営ボランティアプログラム

- 【日程】2018年2月1日（木）～26日（月）
【参加人数】全国外大連合の学生100名(本学67名)
【対応言語】英語27名/韓国語27名/中国語8名/
スペイン語2名/ポルトガル語1名/
イタリア語1名/ロシア語1名
【主な活動内容】
- ・総合インフォメーション
 - ・観客案内
 - ・チケット



講師紹介

筑波大学教員



教授 真田久

東京生まれ。筑波大学体育専門学群卒、同大学院体育研究科修了。福岡教育大学教員を経て、1996年より筑波大学教員。2012年より2018年3月まで体育専門学群長。博士（人間科学）。専門はオリンピック史とオリンピック教育。



教授 松原豊

筑波大学大学院体育学修了。専門領域はアダプテッド体育・スポーツ学。肢体不自由児・者に対する体育・スポーツ支援、児童発達支援、インクルーシブ体育、ダンスセラピーなどに関する教育研究の第一人者。



准教授 澤江幸則

筑波大学体育専門学群卒、同大学院修士、東北大学大学院博士（教育学）。アダプテッド体育・スポーツ学研究領域で、障害児の運動発達支援およびパラリンピック・ムーブメントと教育のあり方について、研究と実践を行っている。



客員教授 江上いづみ

筑波大学附属高校から慶大法学部法律学科卒。日本航空客室乗務員として30年に渡り国際線を乗務し、2013年7月に退社。同年11月、Global Manner Springs設立。14年より筑波大学にて講義を開始し、15年同大学客員教授就任。

神田外語大学教員



国際コミュニケーション専攻長 教授 小坂貴志

1987年、青山学院大学文学部卒業。日本アイ・ビー・エム株式会社（システム・インテグレーション）、モンレー国際大学大学院助教授（ローカリゼーション）、立教大学経営学部特任准教授（英語コミュニケーション）などを経て現職。



室長/専任講師 朴ジョンヨン

韓国ソウル市出身。筑波大学大学院（体育学）を修了し、2007年～現在まで132回の国際大会に1,174名のボランティア人材を送り出した。その他筑波大学や上智大学、早稲田大学にて、非常勤講師、ゲスト講師等にも携わる。

ゲスト講師



文教大学 准教授 二宮雅也

宮崎県延岡市出身。筑波大学卒。同大学院体育学修了。スポーツ社会学を専門とし、日本財団ボランティアサポートセンター参加として東京2020大会ボランティア戦略策定に従事。組織委員会ボランティアアドバイザー会議アドバイザー。



専任講師 北村孝一郎

神田外語大学国際コミュニケーション学科語学専任講師。上智大学比較文化学部卒業。シドニー大学よりM.A.およびM.Phil.取得。民間企業勤務後、NHKラジオ講座ディレクター、高等学校、大学非常勤講師を経て現職。



ロービジョンフットサル日本代表キャプテン 岩田朋之

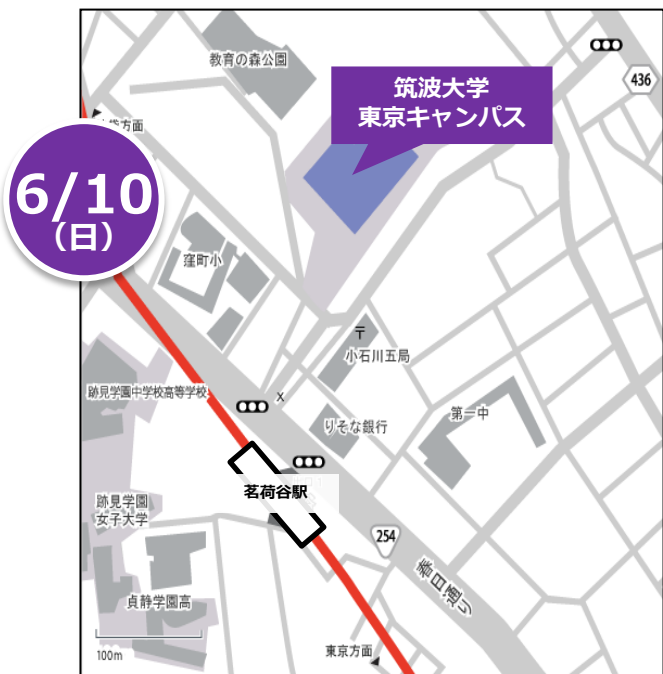
1986年生まれ。東京都出身。2012年夏にレーベル病を発病し、急激な視力低下で視覚障害者となる。筑波技術大学入学を機にF.C.SFIDAつくばに所属。2015年1月よりLVF日本代表主将を務める。2015年・17年には世界選手権に出場し、2018年、LVFクラブ「CA SOLUA 葛飾」を設立。



コマツ女子柔道部助監督 谷本歩実

愛知県出身。筑波大学体育専門学群卒業。2011年まで20年間にわたり女子柔道の現役選手として活躍。2004年アテネオリンピック、2008年北京オリンピックでは、柔道オリンピック史上初のオール一本勝ちで2連覇を果たす。2013～17年、全日本女子コーチを務める。東京2020大会組織委員会理事。

会場のご案内



丸ノ内線茗荷谷駅より徒歩4分



JR神田駅より徒歩2分

カリキュラム&スケジュール

6/10(日)1日目	講座テーマ	担当講師
10:00-10:30	受付	
10:30-10:40	開講式	
10:40-11:30	オリンピックの歴史と教育	真田 久
11:40-12:30	スポーツボランティアとその精神	二宮 雅也
12:30-13:30	昼食	
13:30-14:20	パラリンピックの歴史と教育	澤江 幸則
14:30-15:20	パラリンピアンから学ぶ人間力	岩田 朋之
15:30-16:20	パラスポーツ競技体験会	松原 豊
16:30-17:20		

6/17(日)2日目	講座テーマ	担当講師	
10:00-10:50	スポーツと言語から学ぶグローバル人材	朴 ジョンヨン	
11:00-12:30	グローバルマナーと異文化コミュニケーション	江上 いずみ	
12:30-13:30	昼食		
少人数講座 <small>※3つのグループに分けて受講</small>	GROUP 1	GROUP 2	GROUP 3
13:30-14:20	講座① 平昌五輪ボランティア学生の 体験談と展望 朴 ジョンヨン	講座② グローバル時代における 効果的な英語学習法 北村 孝一郎	講座③ 通訳概論とロールプレイ演習 小坂 貴志
14:30-15:20	講座② グローバル時代における 効果的な英語学習法 北村 孝一郎	講座③ 通訳概論とロールプレイ演習 小坂 貴志	講座① 平昌五輪ボランティア学生の 体験談と展望 朴 ジョンヨン
15:30-16:20	講座③ 通訳概論とロールプレイ演習 小坂 貴志	講座① 平昌五輪ボランティア学生の 体験談と展望 朴 ジョンヨン	講座② グローバル時代における 効果的な英語学習法 北村 孝一郎
16:30-17:20	オリンピアンから学ぶ人間力	谷本 歩実	
17:20-17:30	閉講式		
17:30	解散		

申込方法

右記「QRコード」または下記「お問い合わせ先HP」から『国際スポーツボランティア人材育成プログラム』
開催要項ページへアクセスの上、お申し込みください。

【申込期間】4月23日(月)～5月28日(月)

お問い合わせ先 神田外語大学 スポーツ通訳ボランティア推進室
<http://sports-volunteer.tokyo/>

